

受講生満足度調査(2019年度後期)の集計結果について

調査活動WG長 青木 宏光

<はじめに>

2004年よりFD活動の一環として、受講生の声を聴く「受講生満足度調査アンケート」を実施して参りました。この間、出席管理システムの導入、アクティブラーニングの推奨、シラバスの厳格化、単位の実質化を目指した学修時間の確保など、様々な教育環境の変化がございましたので、2019年度前期には質問項目を変更し、調査を実施いたしました。この新しい質問項目のアンケート用紙を用いて実施した2回目(2019年度後期)の受講生満足度調査の集計結果についてご報告いたします。表1には、前回のFD newsletterにも記載しました新旧のアンケート用紙の対応表をお示しします。

表1 新旧対応表

新	旧講義用	旧演習・実験用
Q 1 (学生の授業外学修)	Q3	Q5
Q 2 (学生の目標到達への取り組み)	Q2・Q4	Q4
Q 3 (授業の技術・音声情報)	Q8	Q6・Q8
Q 4 (授業の技術・視覚情報)	Q9・Q11	Q11
Q 5 (理解度の把握とそれに即した授業内容)	Q8・Q13	Q9・Q10・Q13
Q 6 (授業への参加)	Q12・Q13	なし
Q 7 (行動の変化)	なし(新設)	なし(新設)
Q 8 (授業の感想)	Q16	Q15
Q 9 (自由記述・良い点)	Q17	Q16
Q10 (自由記述・改善点)	Q18	Q17

<回答数および回答分布>

表2に受講生満足度調査を実施した科目数ならびに回答数(括弧内の数値)を示します。2018年度後期(198科目、回答数10,445)に比べ、調査科目数が減っているため、回答数も減少しております。ただ、2018年度後期だけ回答数が1万人を越えており、2016年度後期は8,859人、2017年度後期は8,574人でしたので、元に戻っただけかもしれません。

表2 受講生満足度調査を実施した科目数ならびに回答数

授業形式	共通教育	専門	計
講義	19 (1,260)	114 (5,803)	133 (7,063)
演習	4 (149)	21 (907)	25 (1,056)
実験・実習	0 (0)	16 (730)	16 (730)
計	23 (1,409)	151 (7,440)	174 (8,849)

表3～5に授業区分毎の設問内容とそれに対する回答数を示します。

表3 講義科目の設問と回答数

<共通・専門 (n=7063)>

	設問	6	5	4	3	2	1	無回答	平 均
		大変そう思う				まったくそう思わない			
1. 学生の 自己評価	Q 1. あなたは、この授業の授業外学修を1週間で平均どの程度しましたか？	>4h 270 3.8%	3-4h 362 5.1%	2-3h 913 12.9%	1-2h 1,928 27.3%	<1h 2,678 37.9%	0h 903 12.8%	9	2.71
	Q 2. あなたは、この授業の到達目標を意識し、目標達成に向けて意欲的に取り組んだと思いますか？	1,081 15.3%	2,376 33.6%	2,243 31.8%	810 11.5%	417 5.9%	110 1.6%	26	4.36
	Q 3. 教員の話し方は明瞭で、理解しやすかったですか？	2,150 30.4%	2,430 34.4%	1,610 22.8%	560 7.9%	226 3.2%	83 1.2%	4	4.77
2. 授業内容と 教員の評価	Q 4. 教員の板書、パワーポイント、配布資料などは分かりやすかったですか？	2,326 32.9%	2,317 32.8%	1,561 22.1%	590 8.4%	191 2.7%	69 1.0%	9	4.82
	Q 5. 教員は、学生の理解度を把握するように務めていましたか？また、理解度に配慮しながら授業を進めていましたか？	2,254 31.9%	2,241 31.7%	1,648 23.3%	574 8.1%	232 3.3%	110 1.6%	4	4.76
	Q 6. 積極的に授業へ参加する機会がありましたか？	1,555 22.0%	1,761 24.9%	1,707 24.2%	951 13.5%	556 7.9%	530 7.5%	3	4.17
3. 総合評価	Q 7. この授業を通して、新しい知識や技能、態度が身に付いたと感じますか？	2,405 34.1%	2,526 35.8%	1,503 21.3%	385 5.5%	156 2.2%	82 1.2%	6	4.91
	Q 8. 総合的に考えて、この授業を受講して良かったと思いますか？	2,699 38.2%	2,414 34.2%	1,382 19.6%	339 4.8%	140 2.0%	82 1.2%	7	4.98

表4 演習科目の設問と回答数

<共通・専門 (n=1056)>

	設問	6	5	4	3	2	1	無回答	平 均
		大変そう思う				まったくそう思わない			
1. 学生の 自己評価	Q 1. あなたは、この授業の授業外学修を 1 週間で平均どの程度しましたか？	>4h 111 10.5%	3-4h 101 9.6%	2-3h 144 13.6%	1-2h 263 24.9%	<1h 336 31.8%	0h 99 9.4%	2	3.14
	Q 2. あなたは、この授業の到達目標を意識し、目標達成に向けて意欲的に取り組んだと思いますか？	245 23.2%	406 38.4%	276 26.1%	66 6.3%	39 3.7%	18 1.7%	6	4.66
	Q 3. 教員の話し方は明瞭で、理解しやすかったですか？	371 35.1%	390 36.9%	204 19.3%	52 4.9%	31 2.9%	8 0.8%	0	4.94
2. 授業内容と 教員の評価	Q 4. 教員の板書、パワーポイント、配布資料などは分かりやすかったですか？	381 36.1%	369 34.9%	208 19.7%	65 6.2%	21 2.0%	11 1.0%	1	4.94
	Q 5. 教員は、学生の理解度を把握するように務めていましたか？また、理解度に配慮しながら授業を進めていましたか？	406 38.4%	339 32.1%	213 20.2%	56 5.3%	27 2.6%	15 1.4%	0	4.94
	Q 6. 積極的に授業へ参加する機会がありましたか？	439 41.6%	307 29.1%	185 17.5%	54 5.1%	41 3.9%	27 2.6%	3	4.92
	Q 7. この授業を通して、新しい知識や技能、態度が身に付いたと感じますか？	477 45.2%	368 34.8%	147 13.9%	35 3.3%	18 1.7%	10 0.9%	1	5.16
3. 総合評価	Q 8. 総合的に考えて、この授業を受講して良かったと思いますか？	515 48.8%	343 32.5%	138 13.1%	33 3.1%	17 1.6%	9 0.9%	1	5.21

表5 実験・実習科目の設問と回答数

<共通・専門 (n=1056)>

	設問	6	5	4	3	2	1	無回答	平 均
		大変そう思う				まったくそう思わない			
1. 学生の 自己評価	Q 1. あなたは、この授業の授業外学修を 1 週間で平均どの程度しましたか？	>4h	3-4h	2-3h	1-2h	<1h	0h		
		78	115	168	225	127	17	0	3.65
	Q 2. あなたは、この授業の到達目標を意識し、目標達成に向けて意欲的に取り組んだと思いますか？	10.7%	15.8%	23.0%	30.8%	17.4%	2.3%		
		219	345	130	27	6	0	3	5.02
2. 授業内容と 教員の評価	Q 3. 教員の話し方は明瞭で、理解しやすかったですか？	301	342	75	10	2	0	0	5.27
		41.2%	46.8%	10.3%	1.4%	0.3%	0.0%		
	Q 4. 教員の板書、パワーポイント、配布資料などは分かりやすかったですか？	271	334	111	12	2	0	0	5.18
		37.1%	45.8%	15.2%	1.6%	0.3%	0.0%		
	Q 5. 教員は、学生の理解度を把握するように努めていましたか？また、理解度に配慮しながら授業を進めていましたか？	328	277	107	15	3	0	0	5.25
		44.9%	37.9%	14.7%	2.1%	0.4%	0.0%		
Q 6. 積極的に授業へ参加する機会がありましたか？	367	275	71	14	2	1	0	5.35	
	50.3%	37.7%	9.7%	1.9%	0.3%	0.1%			
3. 総合評価	Q 7. この授業を通して、新しい知識や技能、態度が身に付いたと感じますか？	344	312	64	10	0	0	0	5.36
		47.1%	42.7%	8.8%	1.4%	0.0%	0.0%		
	Q 8. 総合的に考えて、この授業を受講して良かったと思いますか？	375	283	66	5	1	0	0	5.41
		51.4%	38.8%	9.0%	0.7%	0.1%	0.0%		

FD委員会では、「学修者（学生）の行動に価値ある変化を及ぼすこと」が教育であると考え、2019年度前期から新しく加えた質問項目が、Q7の「この授業を通して、新しい知識や技能、態度が身に付いたと感じますか？」です。出来なかったことが出来るようになる、分からなかったことが分かるようになる、というのが教育の効果ですから、Q7が授業（教育）の成果を総合的に表していると考えています。

今回のアンケート結果において、Q7で5（そう思う）、6（強くそう思う）と回答した学生が、講義科目で69.8%、演習科目で80.0%、実験・実習科目で89.9%おり、多くの学生が、授業を通して自分は「変わった」と感じてくれているようです。特に、実際に自分の手を動かす実験・実習科目では、選択肢4の「どちらかといえばそう思う」まで含めれば98.6%の学生が新しい知識や技能、態度が身に付いたと回答しています。やはり、体験型学修は非常に深い学修が可能になることを示しています。

<学修態度と総合評価>

次に、学生の学修態度（Q1、Q2）と授業の総合評価（Q7、Q8）の相関分布を、表6～8に授業区分毎に示します。

表6 講義科目における学生の学修態度と総合評価の分布

Q7・Q8	Q1・Q2			6	5	4	3	2	1	無回答	平 均	6・5群との差
			計	大変そう思う		まったくそう思わない						
Q7	Q1	Q1	632	356	218	49	4	3	2	0	5.45	-
		(6・5)		56.3%	34.5%	7.8%	0.6%	0.5%	0.3%			
		Q1	2,850	999	1,082	588	139	28	11	3	5.00	-0.44
		(4・3)		35.1%	38.0%	20.6%	4.9%	1.0%	0.4%			
		Q1	3,581	1,050	1,226	866	242	125	69	3	4.73	-0.71
		(2・1)		29.3%	34.2%	24.2%	6.8%	3.5%	1.9%			
Q8	Q1	Q1	632	381	193	47	7	2	2	0	5.48	-
		(6・5)		60.3%	30.5%	7.4%	1.1%	0.3%	0.3%			
		Q1	2,850	1,135	1,022	526	124	27	12	4	5.08	-0.40
		(4・3)		39.8%	35.9%	18.5%	4.4%	0.9%	0.4%			
		Q1	3,581	1,183	1,199	809	208	111	68	3	4.82	-0.67
		(2・1)		33.0%	33.5%	22.6%	5.8%	3.1%	1.9%			
Q7	Q2	Q2	3,457	1,812	1,355	244	20	14	10	2	5.42	-
		(6・5)		52.4%	39.2%	7.1%	0.6%	0.4%	0.3%			
		Q2	3,079	513	1,088	1,114	271	69	20	4	4.53	-0.88
		(4・3)		16.7%	35.3%	36.2%	8.8%	2.2%	0.6%			
		Q2	527	80	83	145	94	73	52	0	3.71	-1.71
		(2・1)		15.2%	15.7%	27.5%	17.8%	13.9%	9.9%			
Q8	Q2	Q2	3,457	1,968	1,245	190	30	12	11	1	5.47	-
		(6・5)		56.9%	36.0%	5.5%	0.9%	0.3%	0.3%			
		Q2	3,079	635	1,089	1,049	222	54	24	6	4.64	-0.84
		(4・3)		20.6%	35.4%	34.1%	7.2%	1.8%	0.8%			
		Q2	527	96	80	143	87	74	47	0	3.80	-1.67
		(2・1)		18.2%	15.2%	27.1%	16.5%	14.0%	8.9%			

表7 演習科目における学生の学修態度と総合評価の分布

Q7・Q8	Q1・Q2			6	5	4	3	2	1	無回答	平 均	6・5群との差
			計	大変そう思う			まったくそう思わない					
Q7	Q1	Q1	212	129	69	13	0	1	0	0	5.53	-
		(6・5)		60.8%	32.5%	6.1%	0.0%	0.5%	0.0%			
		Q1	409	181	146	66	11	3	2	0	5.19	-0.35
		(4・3)		44.3%	35.7%	16.1%	2.7%	0.7%	0.5%			
		Q1	435	167	153	68	24	14	8	1	4.95	-0.59
		(2・1)		38.4%	35.2%	15.6%	5.5%	3.2%	1.8%			
Q8	Q1	Q1	212	136	61	13	1	1	0	0	5.56	-
		(6・5)		64.2%	28.8%	6.1%	0.5%	0.5%	0.0%			
		Q1	409	199	135	58	13	3	1	0	5.25	-0.31
		(4・3)		48.7%	33.0%	14.2%	3.2%	0.7%	0.2%			
		Q1	435	180	147	67	19	13	8	1	5.01	-0.55
		(2・1)		41.4%	33.8%	15.4%	4.4%	3.0%	1.8%			
Q7	Q2	Q2	651	387	220	37	3	4	0	0	5.51	-
		(6・5)		59.4%	33.8%	5.7%	0.5%	0.6%	0.0%			
		Q2	348	77	140	97	24	8	2	0	4.71	-0.80
		(4・3)		22.1%	40.2%	27.9%	6.9%	2.3%	0.6%			
		Q2	57	13	8	13	8	6	8	1	3.82	-1.69
		(2・1)		22.8%	14.0%	22.8%	14.0%	10.5%	14.0%			
Q8	Q2	Q2	651	418	191	32	4	6	0	0	5.55	-
		(6・5)		64.2%	29.3%	4.9%	0.6%	0.9%	0.0%			
		Q2	348	86	142	94	19	6	1	0	4.80	-0.75
		(4・3)		24.7%	40.8%	27.0%	5.5%	1.7%	0.3%			
		Q2	57	11	10	12	10	5	8	1	3.79	-1.77
		(2・1)		19.3%	17.5%	21.1%	17.5%	8.8%	14.0%			

表8 実験・実習科目における学生の学修態度と総合評価の分布

Q7-Q8	Q1-Q2		6	5	4	3	2	1	無回答	平均	6・5群との差
		計	大変そう思う				まったくそう思わない				
Q7	Q1	Q1	193	107	71	15	0	0	0	5.48	-
		(6・5)	55.4%	36.8%	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%			
		Q1	393	180	164	41	8	0	0	5.31	-0.16
		(4・3)	45.8%	41.7%	10.4%	2.0%	0.0%	0.0%			
		Q1	144	57	77	8	2	0	0	5.31	-0.16
		(2・1)	39.6%	53.5%	5.6%	1.4%	0.0%	0.0%			
	Q8	Q1	193	117	64	11	1	0	0	5.54	-
		(6・5)	60.6%	33.2%	5.7%	0.5%	0.0%	0.0%			
		Q1	393	195	148	45	4	1	0	5.35	-0.19
		(4・3)	49.6%	37.7%	11.5%	1.0%	0.3%	0.0%			
		Q1	144	63	71	10	0	0	0	5.37	-0.17
		(2・1)	43.8%	49.3%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%			
Q7	Q2	Q2	564	308	229	26	1	0	0	5.50	-
		(6・5)	54.6%	40.6%	4.6%	0.2%	0.0%	0.0%			
		Q2	160	33	81	37	9	0	0	4.86	-0.63
		(4・3)	20.6%	50.6%	23.1%	5.6%	0.0%	0.0%			
		Q2	6	3	2	1	0	0	0	5.33	-0.16
		(2・1)	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%			
	Q8	Q2	564	331	208	24	1	0	0	5.54	-
		(6・5)	58.7%	36.9%	4.3%	0.2%	0.0%	0.0%			
		Q2	160	42	72	41	4	1	0	4.94	-0.60
		(4・3)	26.3%	45.0%	25.6%	2.5%	0.6%	0.0%			
		Q2	6	2	3	1	0	0	0	5.17	-0.37
		(2・1)	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%			

＜アンケート結果の経年変化＞

新様式の質問項目のうち、旧様式と全く同じものは、Q1の授業外学修とQ8の授業の感想だけです。これら以外のものは、新様式の質問項目に近いものを、旧様式から対応させ、どのように変化しているのかを示します。

表9 講義科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設 問 概 要	旧	2016前期 (n=9318)	2016後期 (n=7249)	2017前期 (n=8330)	2017後期 (n=6926)	2018前期 (n=8667)	2018後期 (n=8325)	2019前期 (n=8715)	2019後期 (n=7063)
Q 1. 学生の授業外学修（予習・復習等）の時間	Q 3	2.70	2.71	2.90	2.81	2.92	2.91	2.75	2.71
Q 2. 学生の目標到達への取り組み	Q 2	5.13	5.13	5.19	5.18	5.21	5.19	4.43	4.36
Q 3. 音声情報	Q 8	5.08	5.06	5.12	5.16	5.15	5.16	4.86	4.77
Q 4. 視覚情報	Q11	5.05	5.05	5.13	5.17	5.14	5.19	4.91	4.82
Q 5. 理解度の把握とそれに即した授業内容	Q13	5.07	5.11	5.11	5.17	5.14	5.19	4.79	4.76
Q 6. 授業への参加	Q12	4.79	4.81	4.84	4.88	4.82	4.88	4.26	4.17
Q 7. 行動の変化	-	-	-	-	-	-	-	4.97	4.91
Q 8. 授業の感想	Q16	5.30	5.26	5.31	5.33	5.34	5.33	5.06	4.98

表10 演習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設 問 概 要	旧	2016前期 (n=1307)	2016後期 (n=961)	2017前期 (n=1559)	2017後期 (n=669)	2018前期 (n=888)	2018後期 (n=1032)	2019前期 (n=1307)	2019後期 (n=1056)
Q 1. 学生の授業外学修（予習・復習等）の時間	Q 5	2.87	3.18	3.32	2.91	3.34	3.16	3.70	3.14
Q 2. 学生の目標到達への取り組み	Q 4	5.26	5.33	5.38	5.29	5.33	5.35	4.88	4.66
Q 3. 音声情報	Q 8	5.13	5.13	5.22	5.20	5.18	5.20	5.17	4.94
Q 4. 視覚情報	Q 1 1	5.14	5.17	5.22	5.13	5.26	5.20	5.20	4.94
Q 5. 理解度の把握とそれに即した授業内容	Q 9	5.12	5.17	5.20	5.23	5.20	5.22	5.10	4.94
Q 6. 授業への参加	-	-	-	-	-	-	-	4.85	4.92
Q 7. 行動の変化	-	-	-	-	-	-	-	5.30	5.16
Q 8. 授業の感想	Q 1 5	5.30	5.30	5.36	5.33	5.31	5.27	5.36	5.21

表11 実験・実習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設 問 概 要	旧	2016前期 (n=674)	2016後期 (n=649)	2017前期 (n=375)	2017後期 (n=979)	2018前期 (n=346)	2018後期 (n=1088)	2019前期 (n=333)	2019後期 (n=730)
Q 1. 学生の授業外学修（予習・復習等）の時間	Q 5	3.40	3.45	3.59	3.47	3.68	3.58	3.40	3.65
Q 2. 学生の目標到達への取り組み	Q 4	5.42	5.54	5.53	5.51	5.52	5.53	4.76	5.02
Q 3. 音声情報	Q 8	5.22	5.45	5.37	5.33	5.30	5.49	4.96	5.27
Q 4. 視覚情報	Q 1 1	5.27	5.36	5.28	5.28	5.25	5.41	4.87	5.18
Q 5. 理解度の把握とそれに即した授業内容	Q 9	5.29	5.48	5.36	5.34	5.36	5.48	4.96	5.25
Q 6. 授業への参加	-	-	-	-	-	-	-	5.23	5.35
Q 7. 行動の変化	-	-	-	-	-	-	-	5.24	5.36
Q 8. 授業の感想	Q 1 5	5.47	5.68	5.61	5.53	5.47	5.60	5.20	5.41

Q2は、質問に「到達目標を意識し、到達目標に向けて」という言葉を付け加えたただけなのですが、旧様式に比べ大きく数値が低下しています。Q8は旧様式とまったく同じ文言なのですが、演習科目以外で数値が低下しています。Q3～Q5に関しては、近い質問項目を当てはめていますが、やはり低下傾向が見受けられます。教員の教授方法が急に悪くなったとは考えにくいので、学生側の変化の可能性も考えられます。

<授業外学修>

最後に、授業外学修時間の推定値を示します。授業外学修に関する設問で回答 1 : 0時間、2 : 0.5時間、3 : 1.5時間、4 : 2.5時間、5 : 3.5時間、6 : 4.5時間と仮定して、回答数から平均の授業外学修時間を算定しました。また、授業外学修が1時間未満の学生の割合を授業区分毎にまとめ、過去4年間の推移を示します。

表12 授業外学修時間の推定値（単位：時間、過去4年間）

	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期	2019前期	2019後期
講義	1.28	1.29	1.45	1.39	1.48	1.48	1.31	1.28
演習	1.45	1.74	1.87	1.48	1.88	1.73	2.23	1.68
実験・実習	1.92	1.96	2.10	2.00	2.20	2.10	1.94	2.16

表13 授業外学修が1時間未満の学生の割合（過去4年間）

	授業外学修	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期	2019前期	2019後期
講義	0h	16.5%	16.3%	11.0%	15.3%	12.2%	13.9%	11.3%	12.8%
	0-1h	36.4%	35.8%	34.1%	33.8%	33.0%	32.1%	38.3%	38.0%
演習	0h	15.7%	10.4%	10.2%	14.1%	8.9%	13.0%	7.3%	9.4%
	0-1h	30.1%	25.1%	24.7%	31.3%	22.9%	27.1%	20.4%	31.9%
実験・実習	0h	2.5%	3.1%	3.2%	6.0%	4.1%	4.1%	7.5%	2.3%
	0-1h	24.8%	22.7%	20.3%	21.7%	18.0%	21.5%	24.3%	17.4%

図1 授業外学修時間（推定値）の推移（過去4年間）

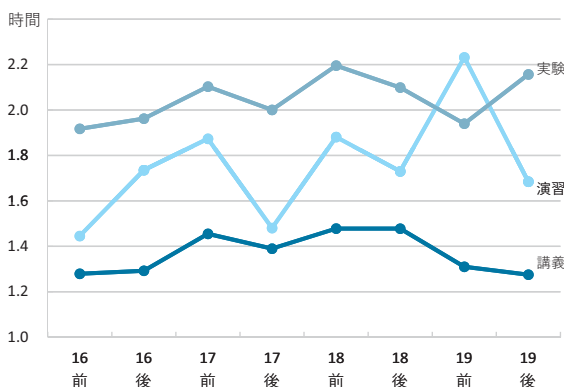
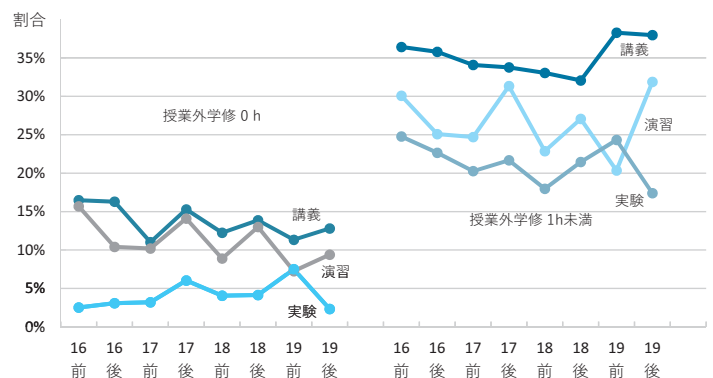


図2 授業外学修時間が1時間未満の学生の割合



実験・実習科目では、それほど多くないのですが、講義、演習科目では、依然として、授業外学修を全くしない学生が1割程度、1時間未満の学生が3~4割と、多くの学生において授業外学修時間が十分とはいえない状況です。

<まとめ>

2019年度は新様式のアンケート結果を用いて、受講生満足度調査アンケートを実施致しました。新様式では、自由記述欄を、旧様式に比べて倍の80字までとしました。自由記述欄は結果を集計できないため、正確には把握できませんが、授業の良かった点、改善点を指摘してくれる学生も多かったのではないかと推察しています。

2019年度前期の調査結果が、それまでに比べて低下しており、後期の調査結果もほぼ同様でした。これは問いかけ方を変えたためではないかと推察しておりましたが、別の要因もあるのかもしれませんが、2018年度に受けた豪雨災害や、2020年度前期の遠隔授業の影響もあったのかもしれませんが、2020年度は個人的に学生の質的な変化を感じることが多々あり、学生を主体的な学修へと導く仕組みが必要であると痛感しております。FD委員会では、受講生満足度調査だけに限らず、教員同士の評価、研修会など様々なプログラムを用意しております。教職員一丸となって教育方法を深化させるべく、今後ともFD活動へのご協力をお願い申し上げます。